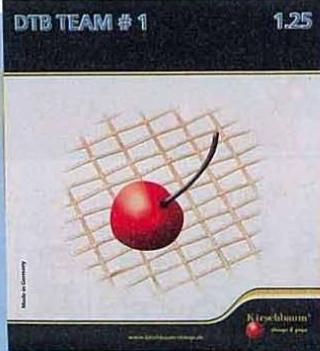


「キルシュバウム」が提案するポリ系ストリングの進化版!

DTB TEAM #1



1985年に創業、そして「スーパースマッシュ」の大ヒットにより、ポリエステル・ストリングのパイオニアとして世界にその名が知られた「キルシュバウム」。いかにもドイツのメーカーらしく、進化の歩みを止めずに絶えず新しい価値の創造にチャレンジする「キルシュバウム」が2012年、市場に送り出す新アイテムの一つが、今回ご紹介する「DTB TEAM #1」だ。



キルシュバウム DTB TEAM #1

- 税込価格: ¥2,310 (本体 ¥2,200)
- カラー: スカイ・ブルー
- 素材: ポリエステル
- 長さ: 12m
- ゲージ: 1.25mm

「キルシュバウム」は「プロライ

ン #1」の姉妹品で、パワーとスピ

ー、そしてコントロール性能のバ

ラスがよ

く、長時間のプレーに適した生地

として人気の「プロライ #1」をベース

に、ドイツテニス連盟 (DTB Deut

sherr Tennis Bund)との共

同開発により完成した。打球感は「

プロライ #1」よりも柔らかく、その

うえにアンショヨン維持力も高いスト

リングに仕上がっている。テニス

「キルシュバウム」が想定している対象

プレーヤーは、ドイツを中心としたヨ

ーロッパの主にグレー

コートでプレーする

競技者だ。

「DTB TEAM #1」を見ると、その鮮やかなスカイ・ブルーのカラ

ーに目を奪われる。ストリングのカラ

ーに目を奪われる。スト

リングの性能に少なからぬ影響力を

持つおり、青は「硬い」という印象

を抱きがちなポリエステル

、ストリン

グに柔らかなフィーリングを与え、

「DTB TEAM #1」では、例え

ば非力な人でもポリエステルならではの

パワー・やスピ

ン性能を比較的享受しやすくなっているのだといふ。

そして、このスカイ・ブルーはドイツテニス連盟のイメージカラーでもある。

TC編集部のインプレッション

期待を上回る打球感

とシヨットに対する信頼感

でポリエステルの新境地を実感!!

期待以上のパワー感と、想像以上

のスピ

ン性能を發揮してくれるストリ

ング……それが「DTB TEAM #1」の第一印象だ。試打にあたった編

集部Mは46歳男性。特別なトレーニ

ングをしているわけではないので、年

齢相応の筋力の持ち主として読んで

ほしい。

とにかく、ストリング 자체が持つ能力の高さをとても強く感じさせる。ふだんはフラット系やスライスを中心としたストリングなのだが、こだわら

りクリに「すり上げるようなスイング

をしなくとも、「この場面では、ちよ

と多めにスピ

ンをかけたい」と意識

するだけで、打球球に想像以上のスピ

ンがかかるのには驚いた。

しかし、だからといっ

てストリングの持つパワーが過剰! 感じられて

て、少し強めにスライスをかけて返さ

なければならないようなボレーでは、

相手の動きに応じてボレーの長短が

しっかりコントロールできる。

レクリエーション的にテニスを楽しみ

たい人にはもちろん、積極的に試合

に出る人にとっても、シヨットやゲーム

メイクで積極的な自信を持

たせてくれるストリングだと思う。

ポリエステル・ストリングは人によ

り好き嫌いがあるだろうが、「DTB

TEAM #1」は自分が好きな人はも

ちろん、今まで敬遠してきた人にも、

きっと「ポリのよさ」が味わえるのでは

ないだろうか。

どんなストリングなのか?

「キルシュバウム」初の1ゲージ展開
柔らかさとテンション維持力の絶妙なバランスを実現した「DTB TEAM #1」

もうひとつ、「DTB TEAM #1」の開発コンセプトとして特徴的なのは「切れ耐久性」ではなく、「性能をフルに發揮する持続性能」を追求したこと。そのため、これまで

0.025mm刻みのラインナップで多様

速そのフィーリングを試してみた。

「キルシュバウム」が「ポリエステル系

ストリングの進化版としての自信

作」と胸を張る、この「DTB

TEAM #1」。TC編集部では、早

速そのフィーリングを試してみた。

1の開発コンセプトとして特徴的なのは「切れ耐久性」ではなく、「性能をフルに發揮する持続性能」を追求したこと。そのため、これまで

0.025mm刻みのラインナップで多様

速そのフィーリングを試してみた。

「キルシュバウム」が「ポリエステル系

ストリングの進化版としての自信

作」と胸を張る、この「DTB

TEAM #1」。TC編集部では、早

速そのフィーリングを試してみた。